

一般社団法人日本医療薬学会
2019年度第4回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2019年8月2日（金） 13時00分～17時00分

二．開催場所： 日本医療薬学会会議室

三．出席者

会 頭： 奥田 真弘

副会頭： 山田 安彦、山本 康次郎、千堂 年昭

理 事： 青山 隆夫、出石 啓治、大谷 壽一、吉光寺敏泰、崔 吉道、
佐藤 淳子、武田 泰生、寺田 智祐、峯村 純子、宮崎 長一郎、
山田 清文

監 事： 大森 栄、山元 俊憲

陪席者

顧 問： 佐々木 均、山本 信夫、和田 一夫

事務局： 星 隆弘、瀧田 忠彦、姫嶋 直子

欠席者

理 事： 井関 健、伊藤 清美、川上 純一、河原 昌美、望月 眞弓

監 事： 安原 真人

顧 問： 五十嵐 邦彦、木平 健治

四．議長： 奥田 真弘

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 15名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 2019年度第3回定例理事会議事録の確認

議長より、本年6月14日に開催された2019年度第3回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。続いて、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 協議事項

(1) 2020年度事業計画案

崔理事より、2020年度事業計画案の説明があった。協議した結果、一部記載事項への加筆修正のほか、別途、協議が続いている各認定制度の見直しに伴う関連委員会の新設及び再編事項と新たな表彰制度に関する事項を追記した上で、次回

の理事会で再審議をすることとなった。

(2) 2020 年度予算案

事務局より、各委員会の委員長より提出された 2020 年度の活動計画に基づく活動費の申請情報と第 30 回年会の収支計画、さらに認定制度の見直しに係る事業活動の増加と事務処理の特定時期への集中に対応するためのセミナー運営の外部委託や派遣職員の雇用経費、さらに効率的な認定申請・審査及び事務処理を実施することを目的とした Web 上で稼働するシステムの構築費用を計上したことが説明された。協議した結果、経費の支出額が大きくなることより見直しが求められ、次回の理事会で再審議をすることとなった。

(3) 2019 年度薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験合否判定

青山理事より、本年 7 月 28 日(日)に実施した薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験（以下、本試験）の実施報告及び合否判定結果に係る説明があった。本試験は、先行して実施された認定薬剤師の認定申請に係る本試験の受験資格審査（書面審査）の合格者 130 名と薬物療法専門薬剤師の新規認定申請者 2 名を合わせた 132 名が受験した。薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験実行小委員会及び認定薬剤師制度委員会において従前の判定基準に則り合否判定をした結果、前者の合格者 108 名と後者の合格者 2 名を合わせた 110 名が合格、不合格者が 22 名（合格率 83.3%）としたことが説明された。協議した結果、本判定結果は了承された。

当該判定結果を受け、108 名を 8 月 1 日付けで認定薬剤師として認定すること、さらに、当該合格者に含まれる認定薬剤師と指導薬剤師の同時申請者 12 名を、指導薬剤師として委嘱することとなった。認定薬剤師の認定期間は、2019 年 1 月 1 日から 5 年間である。（指導薬剤師の委嘱日、委嘱期間も前者と同一である。）また、薬物療法専門薬剤師の新規認定申請者 2 名については、今後実施される同専門薬剤師の認定審査（書面審査）に進められる。

(4) 新たな表彰制度の創設及び関連規程の策定・改大方針

山本副会頭より、新たな表彰制度の検討経過として、新たに若手奨励賞と振興賞の設置に係る説明があった。学術貢献賞は極めて優れた研究成果を有する 25 年以上の会員歴を有する者を表彰する制度に変更する、奨励賞は現行の学術貢献賞の授賞要件とし、若手奨励賞は現行の奨励賞の授賞要件を適用するという建て付けにすることとした。また、学術面の表彰ではなく、社会・地域あるいは教育への貢献や功績賞には該当しないが本学会への貢献が認められた者への表彰制度として振興賞を設ける提議があった。協議した結果、他の学会では、学術面での最高位の表彰制度として自学会の名称を付した表彰を設けているところが散見されることなどの意見があり、本件については再検討をすることとなった。

(5) 各認定制度の見直しに係る検討

寺田理事より、認定制度の見直しに係る専門薬剤師育成委員会における協議内容として、各認定制度の建て付けの整理、各認定制度間の運営や共通化を図るための組織体制の整備、受講単位（クレジット）の取り扱い、認定薬剤師制度から医療薬学専門薬剤師制度への変更に伴う過渡的措置の取り扱い、連携研修施設のあり方及び次年度の申請スケジュール案などが説明された。協議した結果、受講単位の取り扱いや説明資料の表示に対する意見などがあり、それらの修正検討を含め、引き続き委員会で議論を重ね、次回の理事会では諸規程と運営組織の体制を提議することとなった。

(6) 2020 年度版広報用リーフレットの作成方針

峯村理事より、2020 年度版広報用リーフレットの作成にあたり、広報委員会で検討した病院薬剤師を主人公とする漫画アンサンブルシンデレラの画像をリーフレットの表紙に用いることができないかという意見があり、出版社への確認及び交渉を進め、予算内での作成が可能であることより、本理事会にデザイン案が提示された。協議した結果、当該画像の利用については認められるが、表紙の中心に位置しない配置の再考が求められた。また、事務局より、作成期間の都合上、表紙の修正案についてはメール審議による決定の要請があった。

(7) 委員会委員の追加委嘱

1) フレッシュャーズ・カンファランス委員会

大谷理事より、本委員会の委員として、西口工司氏（京都薬科大学）を新たに加える提議があり、了承された。

2) 専門薬剤師育成委員会・地域薬学ケア専門薬剤師検討 WG

宮崎理事より、本 WG の委員として、豊見敦氏（南海老園豊見薬局）を新たに加える提議があり、了承された。

3) 認定薬剤師認定制度委員会

青山理事より、本委員会の委員として、鈴木貴明氏（千葉大学医学部附属病院）を新たに加える提議があり、了承された。

(8) 日本薬剤学会年会におけるシンポジウムの合同企画に係る協力依頼

議長より、日本薬剤学会より、同学会第 35 回年会における本学会との合同シンポジウム開催の提案と窓口担当者の推薦依頼があったことが説明された。協議した結果、当該合同開催を了承するとともに崔理事を推薦することとした。

(9) 過年度会費の遡及納入に係る嘆願への対応（3 件）

山田副会頭より、前年度会費の遡及の嘆願 3 件についての説明があり、協議した結果、本嘆願を了承することとなった。

(10) その他

議長より、来年、本学会は創立 30 周年目を迎えることより記念イベント等の実

施を検討したいが、了承が得られれば運営組織を立ち上げ、具体的な検討を進めたいという意向が示された。協議した結果、本件は了承され、次回の理事会に運営組織の編成案を諮る方針が示された。

3. 報告事項

(1) 第 29 回年会（福岡）準備状況報告

武田年会長より、本年 11 月に開催される第 29 回年会について、公募シンポジウム 66 題、一般演題 1647 題の登録があったことや協賛セミナー（メディカルセミナー）への申込状況等が報告された。また、厳しく交付者の情報管理が求められている薬剤師研修センターシールの交付対応などが報告された。

(2) 2020-2021 年度役員候補者選挙管理委員会の編成

崔理事より、前回の理事会で、2020-2021 年度役員候補者選挙管理委員会の編成方針として委嘱候補者を取り上げたが、今般、その編成結果が報告された。なお、本選挙の開票立会人は、折井孝男氏（河北総合病院）に依頼することとなった。

(3) 2020-2021 年度役員候補者選挙公示と選出スケジュール

崔理事より、去る 8 月 1 日に 2020-2021 年度役員候補者選挙を公示し、立候補の受け付け、投票及び当選者の公表に係る選出スケジュールを公示したことが報告された。

(4) 公益社団法人への移行に係る財務シミュレーションの結果報告

和田顧問より、公益社団法人の認可取得の検討事項として、本学会の事業を共益又は収益事業に分類し、2019 年度決算を基に財務シミュレーションを実施した結果、収支相償規制、公益目的事業比率、遊休財産規制のいずれにも抵触するため、現状の収益状況のままでは公益社団法人に移行すること及び移行後の運営が厳しいことが報告された。

(5) 医療薬学公開シンポジウムの開催予告

山田副会頭より、第 74 回（開催日：9 月 29 日、開催都市：奈良市）及び第 76 回（開催日：11 月 24 日、開催都市：大分市）の各プログラムを基に、2 件の公開シンポジウムの開催計画が報告された。

(6) 講習会、セミナーの開催計画

千堂副会頭より、第 7 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会（開催日：10 月 5 日、開催都市：名古屋市）及びがん専門薬剤師集中教育講座（福岡）（開催日：11 月 30 日、12 月 1 日）のプログラムを基に開催計画の概要が報告された。

(7) 薬剤師認定制度認証機構の定時社員総会議事報告

議長より、本年 6 月 28 日に開催された薬剤師認定制度認証機構の定時社員総会の議事概要が報告された。

(8) AMR アライアンスに係る活動報告

議長より、本学会が参画している AMR アライアンスジャパンが、7月に薬剤耐性対策に向け日本政府が果たすべき役割に関する提言を発表したことが報告された。

(9) 後援申請 (2件)

議長より、次の2件の後援申請を受け、承諾した旨の報告があった。

- ・「第19回癌治療学会アップデート教育コース」
- ・「第20回癌治療学会アップデート教育コース」

(10) 委員会報告

第2回年会あり方検討委員会、第1回がん専門薬剤師能力向上委員会、第2回がん専門薬剤師研修小委員会の資料を基に、議事概要が確認された。

(11) 第3回フレッシュャーズ・カンファランス実施報告

大谷理事より、本年6月16日(日)に帝京大学板橋キャンパスで開催された第3回フレッシュャーズ・カンファランスの実施概要が報告された。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は17時00分に閉会を宣言し、解散した。